

# かさおか 12月



## 来年の干支は



### 『2020笠岡駅前イルミ』

キム・ジンホ(金 振鏡)

今年で3回目の駅前イルミネーションを行うことになりました。新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止した中、今年のイルミネーションをどのようにするか悩みましたが、中心メンバーである高校生から「是非やりたい」と意見の表明を受けて実施を決めました。

毎年5月から会議を重ね、笠岡駅を利用する皆さんにいろいろなイルミネーションを見てもらいました。今年は9月末に会議を立ち上げ準備期間が短いので関係機関や高校生から心配の声もありましたが、各高校と連絡を取る中で高校生のやる気は変わらず、前向きで一生懸命にイルミネーションに取り組もうとする力強い気を感じました。

そして、新型コロナウイルスで岡山西備支援学校が参加を断念したり、時間も無くて募金箱も作れないなど厳しい条件でしたが、笠岡市の補助金と天野産業を始め市内企業からご寄付を頂き、開催に向けて軌道に乗せることができました。

特に、今年は県庁通りのケヤキ並木にも市民や団体の参加による「みんなで楽しむイルミネーション」を点灯します。

駅前から県庁通りをイルミで輝かせ、新型コロナウイルスで落ち込んでいる心に安らぎと、笠岡市内に笑顔を生み出そうと「駅前コラボ in 笠岡」と笠岡市内の高校生、市民参加の皆さんで頑張っています。

小さな力が集まって新型コロナウイルスに負けない光を笠岡駅前に灯すために、これからもみんなが参加してもっと盛り上げて行きたいです。

12月の行事予定 ○12月 9日(水)18:30~

2年第6回子育て部会を開催予定

○12月13日(日)10時~12時

第7回子どもふれあい祭りを予定

(保護者同伴で笠岡小学校体育館)



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地  
「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日14時~17

## 「笠岡町の地名」その 8

**浜 田(はまだ) :** 笠岡 2048~2178 番地

北は宮地下、小丸下まで海であったが、八軒屋町(東本町 1、2 丁目)が造成されたところから干陸せられて、内側は田が開かれた。八軒屋町北裏筋北側から浜田で、明治の終わりごろには、いまだ田、畑牛馬舎が点在した。

(浄心寺)浄土真宗・仏性山浄心寺は開祖津田善了が、名護屋に下る豊臣秀吉を矢掛に出迎えて真言寺院の建立を願い出て許され、吉浜村高津氏の寄進により、慶長十年(1605)に完成と伝わる。

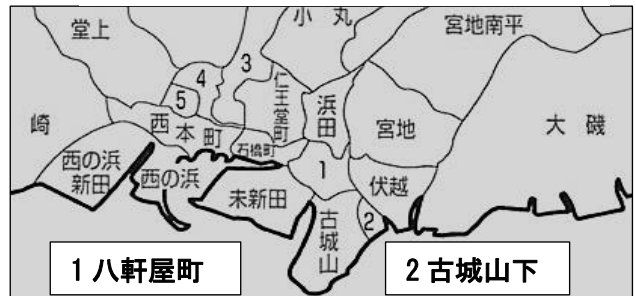
種麦事件に死罪となった久兵衛(神保氏)義兵衛(備前屋のち生江氏)の両家の墓地がある。

**八軒屋町 :** 笠岡 2179~2333 番地

東本町 1、2 丁目、宮地川から石橋町に至る道筋およびその裏町をいう。開発時、八軒が入居したことによる。

笠岡が町らしくなったのは、八軒屋町の町筋が出来てからで、山陽道が矢掛、井原の道から海岸地帯に移ってからである。その道筋は富岡・大磯伏越・八軒屋・石橋町・金崎(呼称は小字名を使用)で、自動車が発達するに伴って、部分的に経路の変更があり、最終は国道二号線に決まった。(注=八軒の中に紺屋が含まれていた。助市小路の助市は紺屋の名前である。=甚之助、きみ、三之助の孝子が出た。最近はこの小路を歩いてシーサイドモールへ行く人がふえた。石橋町の手前に高津氏の家があり、その隣の管木さんは、かつて木綿問屋で大きかった。小林さんは番房と番良に分かれているが、先祖は番匠屋。国富氏の向かいに北村氏のお菓子屋があったが、敷防の横を歩いて踏切を越したところの小路となっていた。これが旧山陽道であり、自動車が通りにくく、曲がりにくいので、北村氏の家は引っ越した。画家・辻鳳山を出した古手屋喜平の家が町内にあった。

行政区分による現在の地番		
浜 田	2048-1	～ 2067
浜 田	2068-10	～ 2179-5
本 町	2068-8	～ 2068-9
本 町	2179-6	～ 2243
本 町	2245	～ 2260-2
本 町	2265-1	～ 2330-2
住 吉	2244-1	～ 2244-13
住 吉	2261	～ 2264-23
伏 越	2338-1	～ 2367



**古城山下 :** 笠岡 2334~2361 番地

吸江山ともいった古城山のふもと一帯の地名。ただし山の南西側は古城山地番に含まれる。

【高 霊/龍(タカオウ)宮】イザナミの神が加具土の神を三段(ミキダ)に斬った時、三段目から生れた神がタカオウの神であると古事記に載る。

この神は降雨止雨をつかさどる神性が一般的であるが、笠岡の盆踊音頭に「助市小路を出て見れば鳴る神押えるタカオウさま」とあることから、雷除けの神になっている。備中集成志(宝暦七年)には「山城国貴船ノ神、越後、常陸之石船之社、同神ニテ竜神也。当社ヨリ雷之守出ル。神秘アリ。神主立神日向守。

草創は享保の頃というが、宝暦年間に改修した記録がある。もとは古城山の西ふもとにあったのを、明治二十八年敷防会社建設にあたり現在地に移した。この時の棟梁大工出部屋(いずえや)は八軒屋町の山足氏である。相殿は住吉宮。

～次号に続く～

【参考文献】笠岡史談「旧笠岡村地名考」岩山保志



石の鳥居



高おう神社と住吉神社



仏性山 浄心寺

【参考写真】かさおか歴史の散歩道 (向かって左側と右側)

### 「編集後記」

寒い季節の到来と共に暖房器具など火を使うことが多くなりますが、特に、今年は新型コロナの感染対策として室内の換気が求められています。“ウィズコロナ”新しい生活様式を実践し、火災の予防にも心がけましょう I・M

### ☆ 令和 2 年火災発生状況 【笠岡消防署】

10月末現在		( )内は元年中	
笠岡市	44 件	( 22 件 )	
うち笠岡	5 件	( 2 件 )	
建物火災	3 件	( 2 件 )	
林野火災	0 件	( 0 件 )	
その他火災	2 件	( 0 件 )	